

山口つよし議員

22 年度決算特別委員会で登壇

10 月 11 日から 26 日まで福岡市議会で、22 年度決算特別委員会がおこなわれました。

10 月 14 日は、山口議員が総会質疑で登壇し

① **本市経済の向上策について**
(観光・港色彩計画・緑の観点から)

② **AED 設置状況と利用活用について**
質問いたしました。



● 本市経済活性化策について

平成 22 年度は本市の法人税が増収になりました。これは全国の業種で、製造・小売・サービス業がリーマンショック時に戻ったといえます。

しかし、本市の市民税は、減少しているので、商業都市の強みである観光客の誘致を更に行うよう要請しました。今はタクシー協会などで外国人用に指差しマップや外国語会話集などにも力をいれています。またクルーズ船の日は、天神などに中国語などの臨時表示をはじめました。

また彩が悪い博多港の色彩を手直しするとともに緑が少ない都心部や港湾区域に植樹や屋上緑化などを行うように指摘しました。

● AED の設置状況と利用状況について

AED は 2003 年から始まり全国では約 33 万台になりました。その内、福岡市が把握している台数は 886 施設 1,016 台です。市ホームページ上に AED の設置地図が掲載されました。また AED は公民館など全会館に配置していますが、本年は空港周辺共同利用会館や下水道局の水処理センター、姪浜旅客待合所などにも配置されます。またバッテリー切れなど起きないように 3 年後の交換を徹底するよう指摘しました。職員は全員作動できるように講習し、今後、駅や集客施設にも設置を働きかけるよう要請しました。



AED 設置施設には「救マーク」をつけています。まだ設置していなければ消防局に申請してください！



福岡シティーマラソンでも消防局救急隊が自転車で巡回し、過去、救命した事例がありました。(写真)

公明党会派議員による

22年度の決算特別委員会質疑を紹介します



楠 議員 10月12日登壇

【生活福祉資金貸付制度について】

これまでの制度では、申請から支給まで約1ヶ月かかっていましたが、事務手続き申請も分かり易くして、支給まで3週間程度になるよう見直しを図るようになりました。

【食品リサイクルと福岡市水産加工公社について】

当公社は2005年以降毎年赤字で、福岡市が毎年約1億円の補助金を出しています。魚のあらから魚粉などを作っても黒字にはなりません。そこで食品残さを受け入れ、肥料などにするよう提案しました。今後この公社のあり方を検討すると答弁がありました。



古川議員 10月13日登壇

【子宮頸がん等ワクチン接種事業について】

国では来年度の方針が決まっています。今のままでは国の財政支援が終了し、本市財政のみでは事業が継続できません。国に対して強く働きかけ市民の不安を取り除くよう言及しました。市長も強く働きかけると答弁しました。

【公衆無線LAN (Wi-Fi) について】

市長の公約事業ですが、まだ形として現れていません。大阪市や広島市の先進地域を紹介し、公民館などでも市民が広く利用できるよう提案しました。携帯端末などで、しかも無料で利用できるよう今後積極的に取り組むと答弁されました。



黒子議員 10月25日登壇

【建築物におけるアスベスト対策について】

東日本大震災では、封じ込めていたアスベストが流出しています。本市ではこの3年間、調査が20件、除去が9件と補助事業件数が少ない状況です。この原因は補助金割合が少ないことに起因しています。今後、分析調査で上限25万円と除去費用の2/3上限120万円の増額が検討されます。



【公共工事での入札・契約について】

下請けの地場に対する発注量が依然として少ない状況です。工事における品質の確保は無論ですが、総合評価方式についても地場企業を優先させる施策が必要と指摘いたしました。今後改善されてまいります。